

魚病診断結果について

湯浅 明彦・谷本 剛

水産研究所では、養殖水産動物の疾病の発生・伝播の防止及び被害の軽減を図るために定期的に養殖場を巡回することにより魚病の監視や疾病対策の指導を行っている。また、魚病相談室を設けて病魚の診断や対策指導を行っている。今年度の結果について報告する。

持ち込まれた養殖魚、種苗生産や中間育成中の病魚及び養殖場の巡回調査時に採取した検体の診断件数を表1に示した。海面養殖関係で21件、内水面関係で66件の診断を実施した。前年度と比較すると海面で5件減少したが、内水面で2件増加した。平成15年11月に茨城県霞ヶ浦のコイ養殖場でコイヘルペスウイルス病（略称KHV）の発病が確認されたことから、県下の天然河川で発見されたコイ死亡魚のKHV検査を実施した。

魚病診断件数

平成16年4月から平成17年3月の期間に、水産研究所へ

表1 平成16年度魚種別の月別診断件数

魚種名	年 H16					H17					計				
	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12		1	2	3	
海面	ブリ（0オ）							1	1					2	
	ブリ（1オ以上）			1		1	1	1	4	1	1			10	
	カンパチ							1	2				1	4	
	ヒラメ（稚魚）											1	1	2	
	マダイ								1					1	
	シマアジ				1	1								2	
	小計		0	1	1	2	2	1	8	2	1	1	1	1	21
内水面	アユ		4	3	7	5	2	3		2	1	3	9	2	41
	アマゴ					1	1					1	2	5	
	ウナギ		2		2		2	3	1					2	12
	コイ		1	4	1				1	1					8
	小計		6	3	9	6	5	6	1	2	1	4	11	4	66

表2 平成16年度診断結果（海面養殖）

魚種名	病名	年 H16					H17					計			
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12		1	2	3
ブリ	レンサ球菌症										1			1	
	細菌性溶血性黄疸症				1		1	1						3	
	スレ等の外傷								4					4	
	赤潮による死亡										1			1	
	不明							1	1	1				3	
小計		0	1	0	1	1	1	5	2	1	0	0	0	12	
カンパチ	類結節症						1							1	
	ビブリオ病												1	1	
	ベネデニア症								1					1	
	スレ等の外傷								1					1	
小計		0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	4	
ヒラメ稚魚	健康診断											1	1	2	
シマアジ	レンサ球菌症				1	1								2	
マダイ	スレ等の外傷							1						1	
合計			0	1	1	2	2	1	8	2	1	1	1	1	21

魚病診断結果

魚種別月別の診断結果を表2, 3に示した。

海面養殖では、ブリ属 レンサ球菌症が注射ワクチンの普及により減少した。同病の発病が確認されたブリとシマアジは、ワクチン未接種魚であった。レンサ球菌症に替わって、昨年来発病がみられる細菌性溶血性黄疸症が3件確認された。10月下旬に四国を縦断した台風23号はその強風により播磨灘海域の養殖施設に大きな被害をもたらした。同海域で養殖していたブリ、カンパチ、マダイにスレによる外傷により大量死亡が発生した。12月、樅泊湾でメソディニウム赤潮発生後の集積分解による酸素欠乏により、ブリの死亡が確認された。

内水面養殖では例年どおりアユの診断件数が最も多く、冷水病とその混合感染症が59%を占めた。平成17年

1月以降、成長が不良で腹部が膨満したアユ稚魚の診断依頼がいくつかのアユ養殖業者からあり、診断の結果エロモナス症であることが確認された。発病魚は全て発育が遅れた種苗であることから、消化器官の障害が疑われた。アマゴでは、1月下旬から2月上旬の餌付け時期の稚魚に大量斃死がみられ、一週間で飼育魚の約半数が斃死した例があった。症状としては体色の黒化、遊泳力の低下の他に肝臓のうっ血が認められたが、病原体は確認できなかった。ウナギ養殖ではパラコ口病とエロモナス症が多く、ウイルス性の鰓弁充血症はパラコ口病との合併症がみられた。春から初夏にかけてコイヘルペスウイルス病のまん延が心配されたが、PCR検査の結果陽性個体は確認されなかった。KHVの感染を疑ってニシキコイの死亡診断依頼があったが、チョウ(ウオジラミ)とダクチロギルスの寄生によるものであった。

表3 平成16年度診断結果(内水面養殖)

魚種名	病名	年H16										H17				計
		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
アユ	冷水病	2	1	4	3	1	1		1		1	5			19	
	冷水病+エロモナス症										1	1		2		
	冷水病+水カビ病			1				1						2		
	シュードモナス病	1	1		1									3		
	シュードモナス病+冷水病										1			1		
	ピブリオ病											1		1		
	エロモナス症							1			1	1	1	4		
	ボケ病			1	1									2		
	健康診断	1												1		
	不明			1	1		1			1	1		1	6		
小計		4	3	7	5	2	3	0	2	1	3	9	2	41		
アマゴ	せっそう病						1							1		
	内臓真菌症											1		1		
	ストレス症					1								1		
	不明										1	1		2		
小計		0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	2	0	5		
ウナギ	鰓弁充血症+パラコ口病								1					1		
	板状うっ血症	1												1		
	パラコ口病			1				1						2		
	パラコ口病+カラムナリス症							1						1		
	パラコ口病+													1		
	シュードダクチロギルス症			1		1								2		
	エロモナス症	1					1							2		
	エロモナス症+												1	1		
	シュードダクチロギルス症								1					1		
	シュードダクチロギルス症												1	1		
健康診断													1	1		
小計		2	0	2	0	2	3	1	0	0	0	0	2	12		
コイ	チョウ症							1						1		
	チョウ症+ダクチロギルス症								1					1		
	KHV検査	1	4	1										6		
小計		1	4	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	8		
計		7	7	10	6	5	7	2	2	1	4	11	4	66		